



地域ならではの

# 身近な自然の中で

～見て・触れて・やってみて 心揺さぶる実体験～

6月号  
時保育園

## 【稚鮎の放流】⑦自然との関わり・生命の尊重 ⑩豊かな感性と表現 ③協同性

晴天の中、③地域の牧田川漁業協同組合の方々と一緒に、稚鮎の放流をしました。バケツの中に稚鮎を入れてもらおうと、鮎の勢いに驚きながらも、恐る恐る手を伸ばして触れてみようとする子が多くいました。「うわっ、動いたっ！」と、鮎の動きにビックリしながらも、⑦強すぎず逃がさない程度の力加減でつかみ⑩「大きくなあれ」「元気でね～」と鮎に声を掛けながら、自分の手からも放流することができました。とても良い体験になりました。



## 【池井さんとの田植え体験からの 保育園での苗植え体験】

③協同性 ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重

地域で米作りをする池井さんに、今年も苗植えを見せてもらったり、田植え機に乗せてもらったりしました。また、⑥上石津郷土資料館からお借りした昔の絵図を見たり、1粒の米の苗から約400粒のお米ができることなど、苗の話も聞いたりして関心を高めました。そして翌週には「次は保育園の田んぼに苗を植えよう！」と、昨年より少し大きくした園庭の田んぼに水を入れました。⑦「ミミズ元気かな?」「カエル捕まえて入れよう」と会話が弾みます。いよいよ苗植え。③黄・青組の子が「おいしいお米にな～れ」と願いながら、田んぼに入って自らの手で数本ずつ苗株の根をちぎりながら、植え込んでいきました。毎朝、気にかけて覗き込んでいます。



## 【さやえんどうの収穫】

②自立心 ⑦自然との関わり・生命尊重

園の畑で実った“さやえんどう”を収穫しました。何度もサルに荒らされ、伸びきらないながらも生長し、ようやく実った中から、⑦「これはおいしそう!」「まだ小さいから残しておこう」と、今までの経験からも、1つ1つを大切に扱う姿が伺えました。その日の給食の肉じゃがに入れて調理してもらおうと、「お豆があった!」と、みんなが喜んで食べていました。

次の日、園庭では、②“カラスノエンドウ”を見つけて、豆を取り出し豆ごはんを作る遊びが広がるきっかけとなりました。

